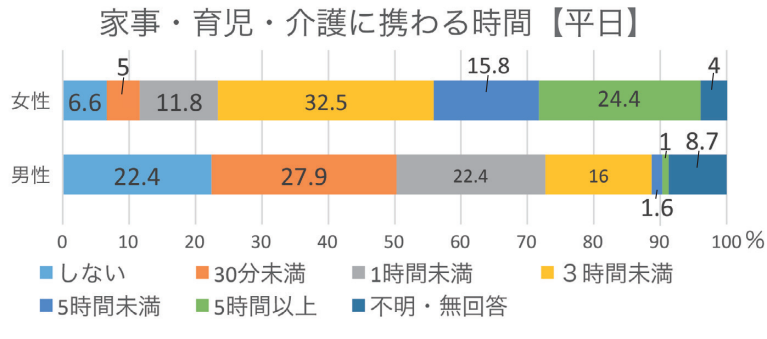
ミライクNews vol.4

市民意識調査の結果をもとに
刈谷市の男女共同参画
について話し合おう

11月に開催される日本女性会議2020あいち刈谷(ミライク会議)に向けて、学生ジャーナリストたちが大会のPRを行っています。今号は、学生ジャーナリストたちがミライク会議のサポーターと世代を超えた座談会を行ったときの様子を紹介します。

学生ジャーナリスト × サポーター座談会

テーマ 家事・育児などの分担状況について



資料：刈谷市「男女共同参画に関する市民意識調査」(令和元年)

――家事の役割分担

山本　人生を豊かにするために、育児も大切ですが、自分の時間を持てるようにしていきたいです。そのために、男性も育児や家事に参加し、平等な社会になればと思います。

久保田　今の時代は、便利な電化製品も多く、家事の負担も減っているので、家事以外のことに時間を割くことができると思います。

樋口　家事を簡略にできれば、男性も家事を行いやすくなっていくのではないでしょうか。

久保田　樋口さんの言う通りだと思います。

太田恵　電化製品だけでなく、得意な人が得意な分野の家事を行っていければ、お互いがすごい楽になると思います。

――家事を通したコミュニケーション

樋口　家事は、母親がやっているイメージがあります。男性の家事への意識を高め、一つずつ実行していくことが大切だと思います。

久保田・太田恵　いい意識だね。

久保田　女性も男性が家事を行うことに対して「ありがとう」とコミュニケーションを取りながら生活すれば、いい夫婦関係が築けると思います。

長谷川　久保田さんが言うように、自然な触れ合いが増えることが一番いいことだね。

――結婚や育児に対する考え方の変化

長谷川　結婚や育児への考え方も変わってきていると思います。昔は「20代で結婚しないと」という考えが大きかった。

太田恵　私が結婚した当初は、分担どころかミライク会議のような場に参加することさえ考えたことがありませんでした。

長谷川　今は昔とは別の価値観が生まれていると思います。新しい考え方をさまざまな人と共有し、みんなが暮らしやすい世の中になっていけばと思います。

――座談会を終えて

太田泰　男女共同参画の意識は変わってきていると思いました。一人一人が輝ける社会の実現に向けて、自分たちがもっと学んでいく必要があると思いました。

ミライク会議に
ぜひご賛同ください！

協賛・寄付のご協力のお願い

ミライク会議は、主に市からの補助金および当日の参加費、そして企業や団体、個人の皆さんからの協賛・寄付で運営しています。本大会の趣旨にご賛同いただき、ご支援、ご協力をいただける人は、申込書（公式HPでダウンロード可）をFAX（27-9652）またはメール（jwc2020aichikariya@city.kariya.lg.jp）で市民協働課内実行委員会事務局へ。

企業　10,000円～（金額に応じて特典あり）
個人　一口3,000円（プログラムなどに名前掲載）

問　市民協働課(☎95-0002)

ミライク会議
公式HPを開設しました

▲公式HP